

作成日 2023年 10月 19日

安全データシート

1. 化学品および会社情報

化学品の名称	プロパルギルアルコールプロポキシラート(2-prop-2-ynoxopropan-1-ol)
製品名	プロパルギルアルコールプロポキシラート
製品コード	F-023458
SDS整理番号	ZC23042-01
会社名称	善ケミカル株式会社
住所	東京都台東区台東2-30-2 善ビル3階
電話番号	03-3839-5861
FAX番号	03-3839-5877
緊急連絡電話番号	03-3839-5861
推奨用途および使用上の制限	メッキの光沢剤

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	引火性液体	区分2
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	区分4
	皮膚腐食性/刺激性	区分2
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分1
環境に対する有害性		該当区分なし

注) 上記のGHS分類で区分の記載がない危険有害性項目については「分類対象外」、「区分に該当しない」または「分類できない」に該当する。

GHSラベル要素

絵表示またはシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

H225 引火性の高い液体および蒸気
H302 飲み込むと有害
H315 皮膚刺激
H318 重篤な眼の損傷

注意書き

【安全対策】

P210 熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。禁煙。
P233 容器を密閉しておくこと。
P240 容器を接地しアースを取ること。
P241 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。
P242 火花を発生させない工具を使用すること。
P243 静電気放電に対する措置を講ずること。
P264 取扱後は手や顔をよく洗うこと。
P270 この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。
P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

【応急措置】

P370+P378 火災の場合: 消火するために水噴霧、粉末消火剤、泡消火剤を使用すること。
P301+P312 飲み込んだ場合: 気分が悪いときは医師に連絡すること。
P330 口をすすぐこと。
P303+P361+P353 皮膚または髪に付着した場合: ただちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。
皮膚を水またはシャワーで洗うこと。
P302+P352 皮膚に付着した場合: 多量の水や石けんで洗うこと。
P332+P313 皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。
P362+P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

P305+P351+P338 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

P310 ただちに医師に連絡すること。

【保管】

P403+P235 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

【廃棄】

P501 内容物、容器の廃棄を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成および成分情報

単一物質・混合物の区別

化学名または一般名

慣用名または別名

CAS番号

分子式 (分子量)

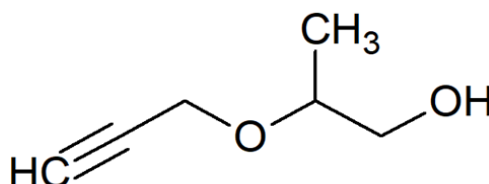
単一物質

プロパルギルアルコールプロポキシレート(2-prop-2-ynoxypropan-1-Propargyl alcohol propoxylate、PAP 他

3973-17-9

C₆H₁₀O₂ (114.14)

構造式または示性式



成分および濃度または濃度範囲
官報公示整理番号

98.0%以上

化審法: -

安衛法: -

4. 応急措置

吸入した場合

被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

ただちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと、または取り去ること。

皮膚を多量の水と石けんで十分に洗うこと。

ただちに医師に連絡すること。

眼に入った場合

水で15分以上注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

医師の診断/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。

ただちに医師に連絡すること。

応急措置をする者の保護に必要な注意事項

適切な保護具を着用する。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

水噴霧、粉末消火剤、泡消火剤

使ってはならない消火剤

データなし

火災時の特有の危険有害性

有害な蒸気が放出される可能性がある。

特有の消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させること。

消火作業は風上の安全な地点から行い、周囲の状況に応じた適切な消火方法を用いること。

周辺火災の際は危険でなければ火災区域から容器を移動すること。

消火活動を行う者の特別な保護具および予防措置

自給式呼吸装置を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

個人用保護具を着用すること。

漏出場所の風上から作業を行い、風下の人を退避させること。

漏出した場所の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立入りを禁止すること。

環境に対する注意事項

十分に換気を行うこと。

封じ込めおよび浄化の方法および機材

環境中に放出しないこと。

付着物、回収物などは関係法規に基づき速やかに処分すること。

着火した場合に備えて消火用器材を準備すること。

火花を発生しない安全な用具を使用すること。

排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐこと。

7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い	技術的対策 安全取扱注意事項	適切な保護具を着用すること。 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。 火花を発生させない工具を使用すること。 漏れ、あふれ、飛散しないよう注意し、みだりに蒸気を発生させないこと。 周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。炎や高温のものから遠ざけること。 静電気対策を行うこと。 万が一火災が発生したときのために適切な消火設備/消火剤を準備しておくこと。 口に入れないこと。 皮膚との接触を避けること。 眼に入れないこと。
保管	安全な保管条件	容器を密閉し、冷暗所に保管すること。 換気の良い場所で保管すること。 直射日光や火気、熱、スパーク、混触危険物質、食料などから離して保管すること。 静電気対策を施すこと。 施錠して保管すること。

8. ばく露防止および保護措置

管理濃度 設備対策		データなし この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。 ばく露を防止するため、装置、機器の密閉化あるいは局所排気装置を設置すること。
保護具	呼吸用保護具 手の保護具 眼、顔面の保護具 皮膚および身体の保護具	防塵・防毒マスク、自給式呼吸器、送気マスク等。 不浸透性の手袋。 保護眼鏡(ゴーグル型)。状況に応じ保護面。 不浸透性の保護衣。状況に応じ、保護長靴。
衛生対策		この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。 取扱い後は手や顔など、露出した部分をよく洗い、うがいをすること。

9. 物理的および化学的性質

物理状態 色 臭い 融点/凝固点 沸点または初留点および沸点範囲 可燃性 爆発下限界および爆発上限界/可燃限界 引火点 自然発火点 分解温度 pH 動粘性率 溶解度 [水] [その他の溶剤] 可溶: n-オクタノール/水分配係数(log値) 蒸気圧 密度および/または相対密度(g/ml) 相対ガス密度 粒子特性	液体 無色透明 ~ 黄色がかった色 製品特有のにおい データなし 約100℃ ほとんど燃えない データなし > 70 °C データなし データなし 5 ~ 9(ISO 976, 23℃) 5.45 mPa·s(20℃) 可溶 メタノール、エタノール、アセトン 0.0(24 °C) 21.8 hPa(20 °C) 1.00 ~ 1.02 g/cm ³ データなし データなし
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

10. 安定性および反応性

反応性 化学的安定性 危険有害反応可能性 避けるべき条件 混触危険物質 危険有害な分解生成物	適切な条件下においては安定。 適切な条件下においては安定。 アルカリ、酸、重金属塩、酸化剤との反応。 加熱、高温、裸火、静電気、スパーク、直射日光、衝撃、摩擦、混触危険物質との接触。 強塩基、酸、重金属塩、強酸化剤。 適切な条件下においてはなし。
-------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

11. 有害性情報

急性毒性	経口	(rat)LD50: >500 ~ 2,000 mg/kg(Information on: 2-Propyn-1-ol, compd. with methyloxirane) (rat)LD50: 464 ~ 2,150 mg/kg(BASF試験)
	経皮	(rat)LD50: >2,000 mg/kg (OECD Guideline 402)死亡は観察されなかった。(Information on: 2-Propyn-1-ol, compd. with methyloxirane)
	吸入	(rat)(IRT)7時間の被爆時間で死亡なし(Information on: 2-Propyn-1-ol, compd. with methyloxirane)
皮膚腐食性/刺激性 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性		(ウサギ)非刺激性(OECD ガイドライン 404) (ウサギ)目に重大な損傷を与える危険性がある。(OECD ガイドライン 405)
呼吸器感作性 皮膚感作性		データなし 動物実験では皮膚感作作用は観察されない。(Information on: 2-Propyn-1-ol, compd. with methyloxirane)
生殖細胞変異原性		入手可能な研究結果のほとんどは、変異原性の影響を示す証拠を示していない。(Information on: 2-Propyn-1-ol, compd. with methyloxirane)
発がん性 生殖毒性		データなし 動物実験の結果では、生殖能力を損なう影響は示されない。(Information on: 2-Propyn-1-ol, compd. with methyloxirane)
特定標的臓器毒性(単回ばく露) 特定標的臓器毒性(反復ばく露)		データなし 動物実験では反復ばく露後に悪影響は観察されない。(Information on: 2-Propyn-1-ol, compd. with methyloxirane)
誤えん有害性		データなし

12. 環境影響情報

生態毒性		
魚類		データなし
甲殻類		データなし
藻類		データなし
残留性・分解性		データなし
生物蓄積性(BCF)		データなし
土壤中の移動性		
n-オクタノール・水分配係数		データなし
土壤吸着係数(Koc)		データなし
ヘンリー定数(PaM3/mol)		データなし
オゾン層への有害性		当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物		廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。 廃棄に際しては適切な保護具を着用すること。 廃棄の前に可能な限り無害化、安定化および中和などの処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にすること。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理すること。
汚染容器および包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、またはリサイクルに関する情報		容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行うこと。

14. 輸送上の注意

その他の注意		輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にすること。 重量物を上積みしないこと。 輸送時も静電気対策を怠らないこと。
--------	--	---------------------------------------------------------------------------------------------

15. 適用法令

適用法令なし

16. その他の情報

主な参考文献

ウェブサイト "PubChem"(2023/10/18 アクセス)
ウェブサイト "Chemical Book"(2023/10/18 アクセス)

SAFETY DATA SHEET (Propargyl Alcohol PO), : MALLAK
SPECIALTIES PVT LTD Revised on 2018/11/28

記載内容の取扱いについて

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。注意事項は通常の見扱いを対象としたものであって、特殊な見扱いの場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

改訂履歴 2023年 10月 19日 作成